



長崎市立矢上小学校 学校だより
『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ」

令和7年5月19日

NO. 9

校長 白水 聡

運動会 係児童打ち合わせ

運動会の練習も進み、15日（水）には、5～6年生の児童と係の仕事について打ち合わせをする会が行われました。下の写真のように、役割や担当を決めたり、スタートのピストルを打つ練習をしたりしました。これらの係の仕事は、運動会を支える大切な仕事であり、高学年だからこそできるものです。自覚と責任の高まりを期待しています。

20日の予行練習では、実際に動きながら仕事の仕方を学びます。自分の競技もあるので、走り回ることが多く、とても疲れることでしょう。

ご家庭では栄養と休養を十分とらせていただき、元気に活動できるようご配慮をよろしく願いいたします。5～6年生のみなさん、練習から本番までよろしくたのみます！



学校探検

「学校探検に来ました。入ってもいいですか？」と校長室に2年生が1年生を連れて、見学にきました。

2年生が、「ここは校長室です。暗唱検定をしたりします。」と説明する姿を微笑ましく見ていました。去年は案内される側だった2年生です。そこでの経験がこの日につながっていることを感じるとともに、相手に話しかけながら上手にかかわる子の姿も見つけました。コミュニケーション力の土台はこのような体験から育まれるのだと感じました。



さようならとは、「然様ならば、心が残りますがこれでお別れいたしましょう。」という別れの気持ちが詰まった言葉です。言葉は気持ちを深める作用があります。日常的にこの美しい言葉をつかえる子供は、きっと人の心の痛みをわかるやさしい子になってくれるのではないかと、などと思うのです。

【「子どもを伸ばす毎日のルール」 辰巳 渚より】

あいさつもコミュニケーションの土台です。矢上っ子のあいさつがよくなりますように…。